

令和4年度 事業等の実施状況

1 概要

(1) 市の方針

安曇野市は、移住定住の促進とともに関係人口の拡大を目標に掲げ、官民連携で丁寧できめ細やかなサポートを実施すること、また、将来的に移住につながるよう、多様な形で本市と継続的にかかわる関係人口「安曇野ファン」の拡大に取り組む方針を示しています。

令和4年度は、この実現に向け、市民生活部移住定住推進課を新設し、各施策に取り組みました。

(2) 数値目標

ア 社会増減数（転入－転出）：2024年に5か年累計で 1,500人（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）

イ 子育て世代の移住：毎年40世帯の移住受入を想定（安曇野市人口ビジョン第2版）

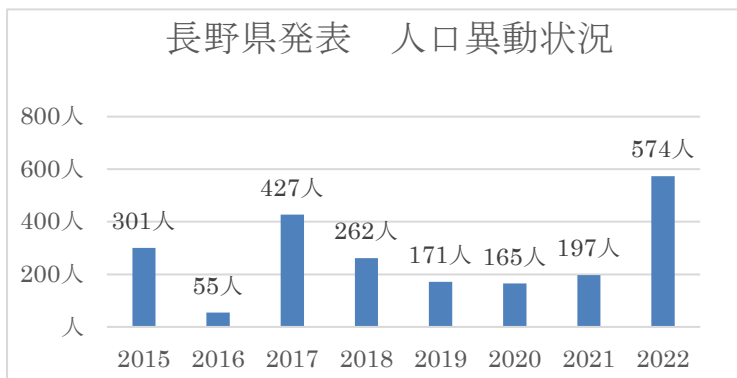
ウ 移住支援による移住者数：2024年に5か年累計で 400人（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）

〃

60世帯（第2次総合計画基本構想・前期基本計画）

(3) 現状

ここ数年、安曇野市の社会動態はプラスが続いており、転入超過数も、県内19市中で上位に位置しています。都道府県別の転入者は下表のとおりです。



2022年都道府県別転入者(上位6地域)

都道府県	総数
長野県	1871
東京都	257
国外	168
神奈川県	140
埼玉県	120
愛知県	101

(総数：3409人)

2 施策の取り組み

(1) 安曇野暮らしセミナー（オンライン）

回数	開催日時	テーマ	講師・ゲスト	参加者
1	R4.6.28 (火) 19時～	安曇野の魅力	暮らし支援協議会 (横田委員・北林委員)	27組 42人
2	R4.8.11 (木・祝) 14時～	山のある暮らし	暮らし支援協議会 (横田委員) 2拠点生活者	15組 18人
3	R4.9.8 (木) 19時～	空き家・住まい	暮らし支援協議会 (醍醐委員・中嶋委員) 移住定住推進課 (内川)	27組 38人

4	R4. 11. 3 (木・祝) 14 時～	保育・就学	こども園幼稚園課 (佐々木) 子ども家庭支援課 (山本) 学校教育課 (中村)	14 組 24 人
5 東京	R4. 12. 13 (火) 13 時 30 分～	地域コミュニティ (※)	地域づくり課 (土屋)	10 組 14 人 (OL のみ)
6	R5. 1. 12 (木) 14 時～	就職・創業支援 職員募集	商工労政課 移住支援金活用者 (移住者) 職員課 松本公共職業安定所 (OL)	19 組 26 人
7	R5. 2. 14 (火) 13 時半～	おためし住宅	おためし住宅業務委託先業者 おためし住宅利用者 (移住者)	27 組 33 人
8	R5. 3. 17 (金) 14 時～	農ある暮らし 農地付き空き家	農政課 移住定住推進課	27 組 30 人

※第5回は現地セミナーとハイブリッド

R4 合計参加者	166 組 225 人
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で人混みを避けたい方でも移住に関わる情報が得られるよう、テーマを変え、定期的を開催した。 ・参加者は延べ人数のため、複数のセミナーに参加した方はその分カウントした。 ・当初は、リアルタイムでの実施のため、多くの方が見られるよう祝日や平日夜に開催したが、仕事の都合などで見られない場合も想定されることから、第5回からは平日の午後に開催したセミナーを録画し、見逃し配信を行った。見逃し配信の視聴者は全体の約7～8割であり、一定の需要が確認できた。 ・参加者からのアンケートでは、「実情が分かった」などの意見がある一方で、「基本的な情報が多く、少し物足りない」、「夫婦や子育て世帯だけではないことを考慮してほしい」といった意見があった。安曇野市をよく知る方やあまり知らない方、年齢層など参加者の属性があることから、来年度は、対象が幅広いことを念頭に置き、テーマを分かりやすく絞り、参加者の満足度の高いセミナーとしたい。 	

(2) 安曇野暮らしセミナー

回数	開催日時	テーマ	講師・ゲスト	参加者
1 東京	R4. 10. 7 (金) 13 時半～	アウトドア 自然保育 空き家の実情	子ども家庭支援課 (杉本) 移住定住推進課 (内川)	6 組 11 人
	R4. 10. 8 (土) 10 時～	アウトドア 自然保育 空き家の実情	あづみの移住大使 (篠原氏) 子ども家庭支援課 (杉本) 移住定住推進課 (内川)	6 組 8 人
2 東京	R4. 12. 13 (火) 13 時 30 分～	地域コミュニティ (※)	地域づくり課 (土屋)	6 組 8 人 (現地のみ)

3 東京	R5. 3. 11 (土) 13 時半～	安曇野暮らし アウトドア クラフトビール グループトーク	あづみの移住大使 (篠原氏) 安曇野ブルワリー (移住者)	11 組 13 人
---------	-------------------------	---------------------------------------	----------------------------------	-----------

※第 2 回はオンラインセミナーとハイブリッド

R4 合計参加者	29 組 40 人
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィズコロナが浸透してきたため、令和 2 年にオープンした銀座 NAGANO 5 階 (移住・交流コーナー) を活用し、東京で現地セミナーを実施した。 ・あづみの移住大使である篠原信一氏が出演し、アウトドアをテーマに講演を行った。 ・セミナー参加者は 10 人前後であり、安曇野への移住を具体的に検討している層が中心となった。 ・参加者アンケートでは、オンラインにはない対話形式のメリットを挙げる人が複数おり、講師や相談員とより緊密なコミュニケーションが取れたと考えられる。 ・今後も、ターゲットを意識し、安曇野市に訪問した上での検討につなげるなど、次のステップに誘導するセミナーとしたい。 	

(3) 移住体験ツアー

回数	開催日時	内容	出席者	参加者
1	R4. 11. 26 (土) ～ R4. 11. 27 (日)	・国営公園トレッキング ・こども園、図書館等見学 ・小倉地域 (区) との交流会	暮らし支援協議会 (横田委員) 観光協会 (北林委員) 小倉地区区長・相談役計 8 人 移住者 2 組	7 組 12 人
2	R5. 2. 4 (土) ～ R5. 2. 5 (日)	・国営公園スノーシュー ・こども園、中学校見学 ・地域コミュニティ、不動産セミナー、交流会	暮らし支援協議会 (横田・醍醐委員) 観光協会 (スタッフ) 移住者 2 組 (市職員)	9 組 16 人 (うち未満児 1 人)

R4 合計参加者	16 組 28 人
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、若年層を主なターゲットに安曇野のアウトドアをプログラムに入れた。 ・加えて、こども園・学校・図書館の見学、地域コミュニティの交流会・セミナーも両ツアーに取り入れた。 ・参加者の年代は、若年層も一定数いたが、多くが 50 代以上であった。このことから、来年度は、募集時から「子育て」といったテーマに絞ったツアーを企画する。 ・アンケートでは、個人旅行では体験できない「交流」への評価が高い傾向にあった。来年度は、交流会の時間を多めにするなどの工夫をしたい。 	

(4) フェア・出展

回数	開催日時	内容	出席者	相談者
1 東京	R5. 1. 15 (日) 10 時～	JOIN フェア	移住定住推進課	30 組 45 人 (概算)
2 東京	R5. 1. 29 (日) 13 時～	ナガノの トビラ	移住定住推進課 商工労政課	9 組 14 人
3 大阪	R5. 2. 23 (木) 14 時～	いなスタ	移住定住推進課	13 組 17 人

R4 合計参加者	52 組 76 人 (概算)
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれのフェアも安曇野ブースへの訪問者は大変多く、東京・大阪においても知名度や人気が高いことを実感した。 ・移住先は安曇野市と決めている方もいれば、まだ他の市町村と検討中の方、そこまで安曇野市を知らない方など様々であった。 	

(5) 出張個別相談

回数	開催日時	内容	出席者	備考
1 大阪	R5. 2. 22 (水)	出張個別相談	移住定住推進課	5 組 7 人

R4 合計参加者	5 組 7 人
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張個別相談は費用対効果の面で課題があったため、フェアと組み合わせて実施した。予定していた 4 枠以上に申込があり、需要があることを実感した。 	

(6) おためし住宅

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
南棟	0	0	1	5	2	4	1	3	1	1	2	4	24
北棟	0	0	0	5	6	4	3	4	0	0	0	1	23
合計	0	0	1	10	8	8	4	7	1	1	2	5	47
人数	0	0	2	31	32	15	11	15	2	4	10	13	135

備 考	<p>※県が発令する感染警戒レベルにより運用変更</p> <p>※住宅設備の破損等が目立つためメンテナンス期間あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/13 から利用再開 ・7/29 から新規予約停止 ・9/26 から新規予約再開 ・10/1～10/20 までメンテナンス期間 ・11/7 から新規予約停止 ・2/15 から新規予約再開
-----	--

R4 合計参加者	47 組 135 人
<p>【総括】</p> <p>・令和7年度までは存続する方針であるが、冬場は凍結によるトラブルが発生しているため、設備の様子を見ながら利用を続けていきたい。</p>	

(7) 通常の相談業務

期間	令和4年4月1日（金）～令和5年3月22日（水）まで
対応状況	<p>相談件数：163件</p> <p>【内訳】 電話：42件、メール10件、来庁111件</p>

(8) オンライン個別移住相談

期間	令和4年4月1日（金）～令和5年3月22日（水）まで
利用者	相談件数：14件
備 考	<p>平日に1日4組まで対応。</p> <p>10：00～、11：00～、14：00～、15：00～</p> <p>事前に質問内容を受け付けて回答する。</p>

<p>【総括】</p> <p>・昨年と比較し、オンライン相談件数は減ったが、来庁による相談件数が増加した。コロナが落ち着き始め、直接相談に来る方が増えたためと思われる。</p> <p>【昨年度との比較】</p> <p>来庁による相談件数：+48件（全体としては+30件）</p> <p>オンライン相談：-14件</p> <p>・オンライン相談者は、ある程度本気で安曇野市への移住を検討している方が多い印象で、支援制度の内容など具体的な質問も多かった。</p>	
---	--

(9) 宣伝・広告

媒体	内容	
移住プロモーション動画 (篠原氏出演)	移住大使・篠原氏が出演したプロモーション動画を作成。アウトドアや子育て環境の魅力をPR。	<ul style="list-style-type: none"> ・ YOUTUBE で広告掲出。ショート版 6.8 万回再生 ・ みらい、ANC アリーナ、イオン豊科店、申告会場(本庁舎) で放映。
子育て情報誌 「HappyNote」 広告掲出	子育て世代をターゲットにした全国フリーペーパーに安曇野自然保育を掲載。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 16 万部発行 ・ 安曇野の資料請求 109 件
パンフレット 安曇野移住ガイドの発行	若年世代を主なターゲットに A3 の 2 折り冊子を作成。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2,000 部作成 ・ 首都圏の移住フェアやセミナー、ふるさと回帰支援センター移住関連施設に設置。
広報あづみの特集 「移住定住で地域力アップ」	市の移住推進に対して市民の理解を促すため、12月号巻頭4ページ掲載。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 38,000 部発行 ・ 市内全世帯に配布

【総括】

- ・ プロモーション動画の YOUTUBE 広告は、首都圏・中京圏・近畿圏の 25～54 歳、移住、田舎暮らし、アウトドア、子育て等をターゲットトピックに掲出した。
- ・ また、移住希望者をターゲットにしたプロモーションだけでなく、広報紙、施設モニター等の掲載により、市民に対して移住推進への理解を促した。
- ・ 来年度は、マップの作成、合同フェアで使う PR 用品などの充実化を行う。

3 県・松本地域振興局主催事業への参加

回数	開催日時	内容	出席者	参加者	主催
1 東京	R4. 10. 15 (土) 12 時半～	セミナー 移住相談会	移住定住推進課職員	15 組 33 人	松本地域 振興局
2 OL	R4. 11. 23 (水・祝) 13 時半～	オンラインツアー	移住定住推進課職員 (有) 細田農産	25 人 (延べ数)	松本地域 振興局
3 愛知	R4. 12. 3 (土) 13 時半～	セミナー 自治体交流会	移住定住推進課職員	20 人	県 (次世代サ ポート課)
4 OL	R5. 2. 10 (金) 18 時半～	地域とお酒	移住定住推進課職員 安曇野ブルワリー	28 組 32 人 (視聴者)	県 (信州暮ら し推進課)
5 愛知	R5. 2. 18 (土) 13 時半～	現地セミナー 移住相談会	移住定住推進課職員	17 組 20 人 (※)	県 (信州暮ら し推進課)

※安曇野市への相談 (6 組 6 人)

R4 合計参加者	130 人
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本地域振興局主催のセミナーは、漠然と信州や松本エリアに移住したいという方に各地域の紹介ができるため、他市を検討している人がブースに訪れるなどのメリットがあった。 ・県（次世代サポート課）主催の愛知セミナーは婚活も兼ねたものであったが、安曇野ブースへの訪問者は多く、婚活と移住相談を兼ねた層が一定数いることが確認できた。 ・県（信州暮らし推進課）主催のオンラインセミナーは、移住要素は薄かったが、地域の魅力紹介にもなるため、機会があれば参加したい。 	